

広島市植物公園

見どころ案内

2017年5月6日
通巻第327号

ウツギ (アジサイ科)

枝先に穂状の花をつけています。茎の中が中空になっているので空木と言われています。四月のことを卯月と言いますが、この花が咲くことが由来です。

バラ (バラ科)

早咲きのリーゼン・ロード・クライマー、ハマナシなどが咲いています。幻のバラ(キネンシス・スポンタネア)も咲いています。

セッコク・長生蘭展

5月11日(木)まで。
日本の野生蘭であるセッコクの開花株と、斑入りなどの特徴を持つ長生蘭を展示します。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープン
は平成29年秋ごろです。(予定)

巨大ハンキングバスケット

赤いゼラニウムを中心にして、ヘリクリサム、オカメツタを組み合わせ、新バージョンに仕立てました。

日本ハンキングバスケット協会
ハンキングバスケットマスター作

エビネ (ラン科)
香りのある様々な色の花が咲いています。

フジ (マメ科)

展望塔前の通路を覆って紫花のノダフジが咲き誇っています。

チョウジソウ

(キョウチクトウ科)
茎を高さ 40 ~ 80 cm まで伸ばし、茎頂に薄青色の花を多数付けます。夾竹桃の仲間なので、全草有毒です。

ムベ (アケビ科)

花には芳香があり、花冠は薄い黄色で細長く、剥いたバナナのようになります。

ヒトツバタゴ(ナンジャモンジャノキ)

(モクセイ科)
トネリコ(別名タゴ)に似ており、トネリコが複葉であるのに対して、単葉なので名がつけました。珍しい木だったため、昔名前が判らなかつたため、ナンジャモンジャノキと言う別名になったと言われていたことが不明です。

ホタルブクロ (キキョウ科)

開けたやや乾燥した草原や道端に良く見られる多年草で、花は赤紫や白色があり、俯いて咲きます。暑さには弱いですが、日陰でも良く育ちます。

